経営者・従業員の為の

健康ひとくちメモ

（公財）福井県健康管理協会　検査課放射線グループ　西村 宣広

肺がんとタバコ

○肺がんの原因

肺がんの最大の原因としてはタバコの影響が大きいとされています。タバコを吸うと肺がんにかかるリスクが、男性は4・4倍、女性は2・8倍に増加すると言われています。また50歳以上で1日の喫煙本数×喫煙年数が600以上の方は健康へのリスクが極めて高くなるので要注意です。

○喫煙率

平成28年の全国平均喫煙率は19・8％でした。都道府県別の喫煙率で福井県は19・8％と高い方から20位でした。男女別で見ると成人男性は36・6％でワースト2位でした（1位は群馬県の37・3％）。意外と福井県は喫煙率が高いですね。成人女性は6・0％（45位）と低いです。やれば出来る！禁煙を頑張りましょう。

○肺がんの現状

日本対がん協会が平成28年に全国の支部で行った肺がん検診の結果では、受診者数は334万8270人、そのうち精密検査が必要とされた人は6万6299人で、この中で精密検査を実際に受診された人は5万2727人でした。この検査でがんが発見された人数は1548人となり、その割合は0・05％でした。

この結果によると、肺がん検診を1万人が受診した場合、198人が異常ありと判定され、その中で精密検査を受けた人は157人となり、その中から5人の肺がん患者が見つかる計算になります。

○肺がん検診のデジタル化

肺がん検診の一次検診はレントゲン検査ですが、最近はデジタル化が急速に進んでいます。このメリットは撮影後に画像をその場でモニターで確認出来ることです。診断に邪魔になるものがあれば直ぐ撮り直しが出来ます。

例えば、ブラジャーや肩紐の長さを調節するプラスチック、金属性ネックレス、ボタンなどです。吸気不足で肺が大きくふくらんでいないときも要注意です。ふくらみ不足で見えない所に病変が隠れている場合もあるからです。フィルム時代は現像してからでないと分かりませんでした。

また、医師が診断するときは高精細モニターを使用して画像の濃度を変えたり拡大をしたりしてより詳しい診断が可能です。そのモニターで詳しく見ていると、撮影時の衣類に付いていたロゴと思われる影がうっすらと写っていることがありました（近頃は様々な材質を使用した衣類があります）。検診会場には無地のTシャツを着るなど、安心して撮影出来る衣類でお越し下さい。